

contents

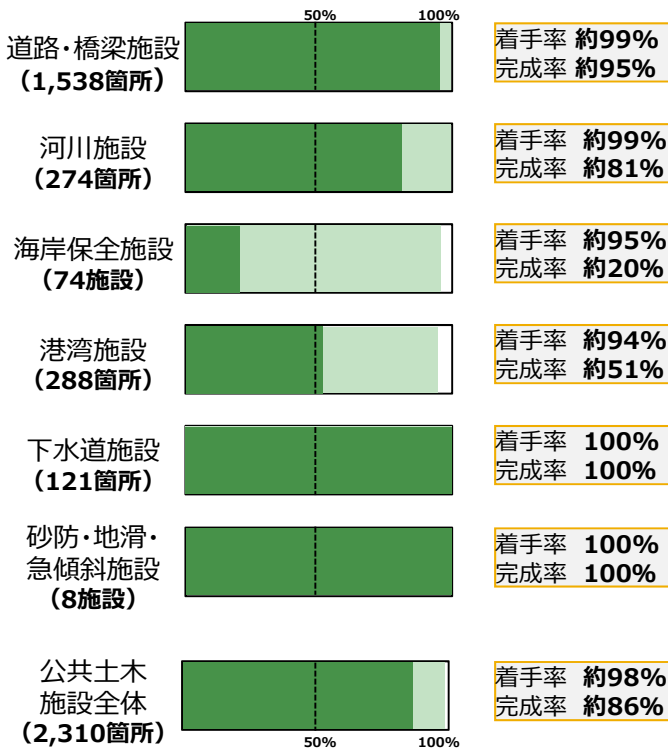
- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成28年7月末現在】
- ・復興トピックス(平成27年3月下旬～平成28年7月)



宮城県土木部

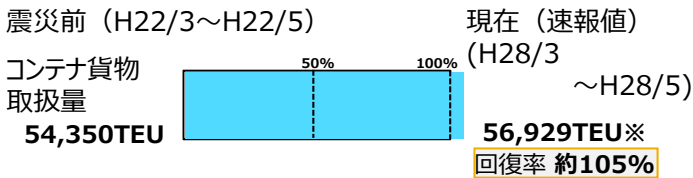
復旧・復興の進捗状況【平成28年7月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



■ 着手率：工事請負契約を締結したもの
■ 完成率：工事が完了したもの

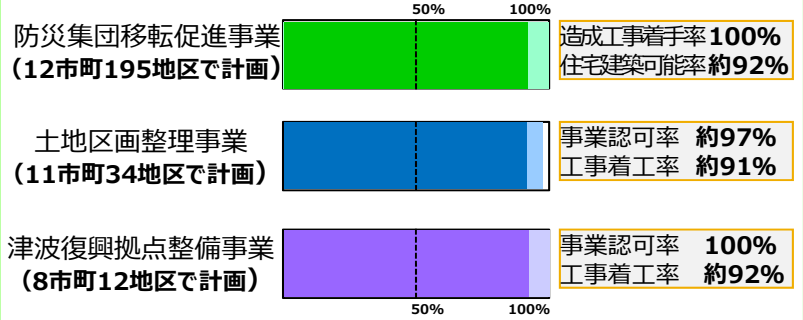
●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



■ 回復率：震災前(H22/3～H22/5)に対して現在(H28/3～H28/5)のコンテナ取扱量(TEU)の割合

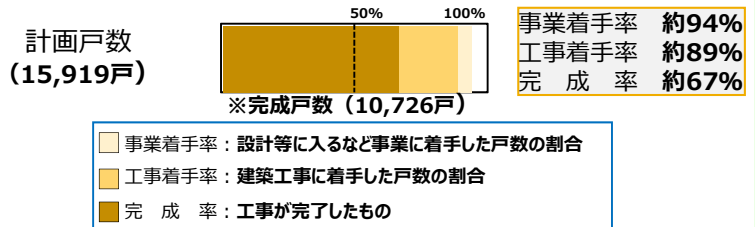
※TEUとは20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

●復興まちづくり事業の進捗状況

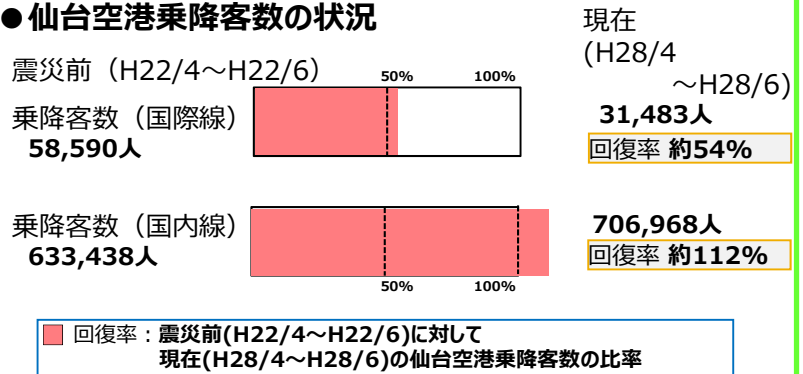


■ 造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
■ 住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
■ 事業認可率：事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
■ 工事着工率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス（平成28年3月下旬）

3月

●3/24 主要地方道気仙沼唐桑線
「東舞根復興道路」開通

●3/25 女川みなとびらき・湾口防波堤完成式

●3/27 三陸沿岸道路「仙塩道路4車線化」及び
「多賀城IC」開通

●3/30 石巻市新蛇田南地区B街区災害公営住宅
完成引き渡し

石巻市新蛇田南地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、完成引き渡しが行われました。完成した住宅は、鉄筋コンクリート造5階建て120戸で、すでに入居が始まっています。

●3/30 名取駅前地区第一種市街地再開発事業
組合設立認可書交付式

名取市中心街地再生と復興を図る「駅前地区第一種市街地再開発事業」を施行する市街地再開発組合の設立が認可され、宮城県遠藤土木部長から組合設立発起人で名取駅前地区市街再開発準備組合の大浦理事長へ、設立認可書が手渡されました。

●3月24日
主要地方道気仙沼唐桑線
「東舞根復興道路」開通

「東舞根復興道路」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた東舞根地区において整備が進められている防災集団移転地（舞根1地区、舞根2地区）と気仙沼中心市街地を接続する道路として、復興交付金を活用して整備したものです。

本路線は、復興交付金道路事業としては本県初の完成となり、地域住民の利便性向上や地域の活性化、災害時における孤立解消や緊急避難道路としての役割が期待されます。



●3月25日
女川みなとびらき・湾口防波堤完成式

東日本大震災の津波により、女川湾内の漁港・港湾施設は甚大な被害を受け、県は災害復旧事業などにより施設の復旧を進めてきました。

この度、県内唯一の津波防波堤である女川湾口防波堤が完成し、漁港・港湾施設も概成する運びとなり、復旧に御協力頂いた関係者の皆様へ感謝の意を表するとともに、女川町の復興を地域の皆様に広くお伝えするため、完成式典を開催しました。



●3月27日
三陸沿岸道路「仙塩道路4車線化」及び
「多賀城IC」開通

国土交通省とNEXCO東日本が整備を進めてきた、三陸沿岸道路 仙塩道路の4車線化及び多賀城ICが開通しました。開通に先立ち、式典が執り行われ、テープカットやくす玉開き、記念パレードなどで開通を祝い、供用開始しました。

「仙塩道路」は仙台港北IC～利府中IC間の延長約7.8kmの自動車専用道路であり、当該区間の4車線化により三陸沿岸道路と仙台北部道路の合流部の交通が円滑になり、渋滞緩和や物流の効率化が期待されます。また、多賀城ICの開通により地域の観光振興や産業の活性化などが期待されます。



写真出典：仙台河川国道事務所

●4月17日
国道4号 金ヶ瀬拡幅 開通

国土交通省が整備を進めている、国道4号金ヶ瀬拡幅事業において、一部区間の工事が完成しました。

完成区間は仙台市圏と白石市間で唯一の2車線区間であったため、交通渋滞が課題となっていました。この度の4車線化により、渋滞緩和と東北自動車道白石ICへの利便性が向上し、物流や観光で地域活性化が期待されています。



復興トピックス（平成28年4月～5月）

4月

●4/1 仙台空港アクセス鉄道利用者数過去最高 仙台空港乗降客数 3年連続300万人を突破

平成27年度における仙台空港アクセス鉄道利用者数について、開業以来最高の337万人を記録しました。また、仙台空港の乗降客数は、3年連続300万人を突破し、311万人を記録しました。

●4/12 外貨コンテナ定期航路(韓国航路) 新設

仙台塩釜港(仙台港区)と韓国の釜山港をダイレクトに結ぶ新たな航路が開設され、平成28年4月12日に第1船が寄港しました。今回の航路開設により韓国航路が3航路週3便に増便され、輸送頻度が上がることで、本県をはじめ東北各県に立地する企業による世界各国との輸出入の利便性が更に向上するものと期待されます。

●4/16 三陸沿岸道路 「登米東和IC～三滝堂IC」開通

●4/17 国道4号金ヶ瀬拡幅開通

●4/24 国道346号「本吉バイパス」開通

●4/28 「東日本大震災岩沼市仮設住宅閉所式」

●5/14 名取市閑上地区 集合災害公営住宅整備事業 起工式

名取市閑上地区で初となる集合災害公営住宅(第1期)の起工式が開催されました。整備する住宅は鉄筋コンクリート造地上6階建ての集合住宅4棟140戸で、平成29年7月の入居を予定しています。

●5/14 津波防災シンポジウム開催

●5月14日 津波防災シンポジウム 開催

東松島市コミュニティセンターにおいて「津波防災シンポジウム 語り部が考える“伝承”の在り方 ～東日本大震災から5年、今、これから、何を語るか～」を開催しました。

基調講演は、東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任助教 定池祐季氏から「災害伝承と災害文化」と題し、講演をいただきました。

また、シンポジウム内で「伝承サポーター」の認定式を行い、今回伝承サポーターに認定された個人・団体の方々51者のうち13名の方々に出席いただき、認定証を贈呈しました。



▲津波防災シンポジウムの開催状況については、
防災砂防課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/list600.htm>

●4月16日

三陸沿岸道路「登米東和IC～三滝堂IC」開通

国土交通省が整備を進めてきた、三陸沿岸道路「登米志津川道路」のうち、「登米東和IC～三滝堂IC間」の延長2km区間が開通しました。

東日本大震災後、宮城県内での三陸沿岸道路の延伸は初めてであり、沿岸部の復興支援を強く後押しするものと期待されています。



●4月24日

国道346号「本吉バイパス」開通

平成20年度から整備を進めてきました国道346号「本吉バイパス」が、4月24日(日)に供用を開始しました。

「本吉バイパス」は、旧本吉町中心部の道路の幅員狭小、歩道未整備、線形不良を解消するとともに、東日本大震災以降には、防災道路ネットワークを構築する上でも重要性が高い事業として、復興予算を活用して加率的に整備したものです。「本吉バイパス」の供用により、安全かつ円滑な交通が確保されるとともに、気仙沼・本吉地域における産業経済の活性化や観光振興、沿岸部と内陸部を結ぶ防災道路としての役割などが期待されます。



●4月28日

東日本大震災岩沼市仮設住宅閉所式

岩沼市では里の杜地区に応急仮設住宅384戸を整備し、被災した皆様の仮の住居としてきましたが、平成28年4月に最後の世帯が引越しを終え、全世帯の移転が完了いたしました。これは復興の大きな一歩であり、これまでご支援いただいた全国の皆様へ感謝の気持ちをお伝えする機会として「東日本大震災 岩沼市仮設住宅閉所式」を開催いたしました。

式典では、元入居者代表の方が「仮設住宅には、涙や笑顔、感動や感謝、夢や希望が詰まっている。今日の閉所式は生涯忘れることのできない日となる」と話していました。



復興トピックス（平成28年6月～7月）

6月

●6/4 主要地方道岩沼蔵王線トンネル着工式

●6/13 新北上大橋 開通

●6/15 第6回復興道路会議～宮城県～開催

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、東北地方整備局や県をはじめ、地域経済界や復興道路等の関係市町が出席し、「第6回復興道路会議」を開催しました。

会議では、三陸沿岸道路の状況や、みやぎ県北高速幹線道路の整備状況など、復興道路・復興支援道路の進捗状況について情報共有を図ったほか、復興道路を活かした地域支援策や地域づくり事例について報告があり、開通の効果などについて意見交換がなされました。

●6/28 アシアナ航空「仙台～ソウル線」 デیلیー(毎日1便)運航

●6/29 仙台空港初の国際線LCC タイガーエア台湾「仙台～台北線」就航

●7/1 仙台空港民営化スタート

●7/13 平成28年度宮城県建設工事表彰式・ 事故防止対策推進大会開催

●7/28 「宮城県」と「公益社団法人日本技術士会 東北本部宮城県支部」の災害時応援協定締結

協定締結により、大規模災害時における被災箇所の県や市町村の災害復旧において、多くの経験と高い技術を備えた技術士の皆様から助言をいただけることで、災害復旧工法の選択肢が増え、より迅速で効果的な工法の採用が可能となると期待されます。
(公益社団法人日本技術士会が自治体と防災協定を締結するのは、北海道・東北地区では初めてとなります。)

●6月4日

主要地方道岩沼蔵王線 トンネル着工式

主要地方道岩沼蔵王線は、岩沼市を起点とし、村田町を経て、蔵王町に至る幹線道路であり、東北縦貫自動車道と仙台東部道路のアクセス道路であるとともに、仙台空港と内陸部を結ぶ東西軸として位置づけられている重要な路線です。東日本大震災時には、復旧車両等の通行に支障を来たしたことなどから、災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築のため、事業を進めているものです。



●6月13日 新北上大橋 開通

新北上大橋は平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、北上川左岸側の2径間(L=155m)が流出するなどの甚大な被害を受け、災害復旧事業により復旧工事を進めてまいりました。震災後に仮橋を設置して交通を確保してまいりましたが、新橋の架設工事を行い、車輛の通行が可能となったことから通行止めの解除に先立ち開通式を開催しました。

復旧延長 L=565.7m(うち上部工新設L=155m)
道路幅員 車道7.5m+歩道2.7m 計10.2m
事業年度 平成23年度～平成28年度



●7月13日

平成28年度宮城県建設工事表彰式・ 事故防止対策推進大会開催

宮城県建設工事表彰式は、県が発注した建設工事の中から、優良な工事を施工した県内の施工業者及び特に安全管理に対する取組が優良であった現場代理人を表彰するもので、今年度は98社、113名が受賞されました。

また、宮城県建設工事事故防止対策推進大会は、平成2年度より開催しており、工事関係者の安全意識の高揚を図り、建設工事における事故防止に寄与することを目的に実施しています。



優良建設工事施工業者表彰

▲詳しくは事業管理課ホームページをご覧ください

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/taikai28.html>

●7月1日 仙台空港民営化スタート

宮城県では、震災からの創造的復興に向けた取り組みの一つとして、仙台空港の民営化を推進し、7月1日から、国管理空港として初めて民間企業による空港の一体的運営がスタートしました。

民営化第一号となった仙台空港では今後、民間の知恵やノウハウを生かした空港運営により、航空路線の更なる充実や、空港利用者の増加といった好循環が生まれることで、宮城のみならず、東北全体の交流人口拡大による地域経済の活性化が期待されています。



宮城県土木部

○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>